

ま る か る

Mul-Cul

「秋田市日本語教室」特集

「秋田市日本語教室」って？

秋田市内で暮らす外国人が、日本での生活に必要な基本的な日本語を学べる教室です。基本的に毎週火曜日の18:30~20:00に、にぎわい交流館A Uで開講しています。受講は無料（教科書代は自己負担）、市内在住の外国人であれば、どなたでも参加できます。



くわしくはこちら
(秋田市HP)

「会話クラス」始まる！

今年度から、生活や日本文化に関するさまざまなテーマについて、生活で役立つ日本語を学ぶ「会話クラス」がスタートしました（年間8回程度）。会話クラスは、日本語教室に登録していない方も参加できます。今回は今年度の活動をいくつかご紹介します。

「ごみの分け方」6月9日

秋田市環境都市推進課の職員を講師に、秋田市のごみの分け方について学びました。実際にごみを分ける体験も行い、複雑な分別ルールへの理解を深めました。



「七夕」7月7日

七夕の由来や、日本の七夕について学びました。願い事を短冊に書き、折り紙でちょうちんを作り、オリジナルの七夕飾りを完成させました。



こうつうあんぜんきょうしつ がいつか
「交通安全教室」 9月5日

あきたちゅうおうけいさつしよ しよくいん こうし むか にほん こうつう まな
秋田中央警察署の職員を講師に迎え、日本の交通ルールについて学びました。
ちゅうがくせい こうこうせい さんか がいこくじんじゅうみん こうりゅう たの
中学生・高校生のボランティアも参加し、外国人住民との交流を楽しみました。



がくしゅうしゃ こえ
学習者の声

- ヘルメットを着用しなくても罰金が科されないことを初めて知りました。4月からの規則では罰金が科されると思っていました。このクラスに参加できてうれしく、日本の交通についてたくさん学べました。
- 勉強になりました。将来自分の安全のために、全部ルールを守らないといけない。



こえ
ボランティアの声

- 日本語を勉強中の人々と日本語で話すことは、よい勉強になった。普通に話す時とは少し話し方を変える必要があったため、少し難しかったが、国ごとの交通ルールの違いなどを比べて楽しかった。
- 普段できない外国人との交流の機会に巡り合えて、それぞれ各国のルールなども一緒に知ることができ、参加してよかったと思います。

にほんご
「やさしい日本語」とは？

「やさしい日本語」とは、日本語に不慣れな外国人にも伝わりやすいように、言葉や表現を「わかりやすく」「かんたんに」した日本語のことです。

災害時だけでなく、生活情報や観光情報などを伝えるときにも使われています。

例：「避難所」⇒「逃げる場所」

にほんご
やさしい日本語にしてみよう！

- ※模範解答は逆さにして確認
- 初級「飲食」
 - 中級「土足厳禁」
 - 上級「公共交通機関」
 - 「どろり車」
 - 「どろり糖」
 - 「どろり食」

お知らせ

きょうそう きょうどう
共創・協働つながるつどい
いぶんかりかい こくさいこうりゅうへん
～異文化理解・国際交流編～

11月29日（日）、秋田拠点センターアルヴェで「共創・協働つながるつどい～異文化理解・国際交流編～」を開催します。友好・姉妹都市の紹介ブースのほか、外国人住民による母国紹介やパフォーマンスなど、世界の文化を身近に感じられる企画が盛りだくさん！各国の味を楽しめる飲食ブースも登場します。ぜひ遊びに来てください。



◇ 開催概要 ◇

日 時：令和8年11月29日（日）
午前11時～午後4時
場 所：秋田拠点センターアルヴェ
1階「きらめき広場」
その他：入場無料

